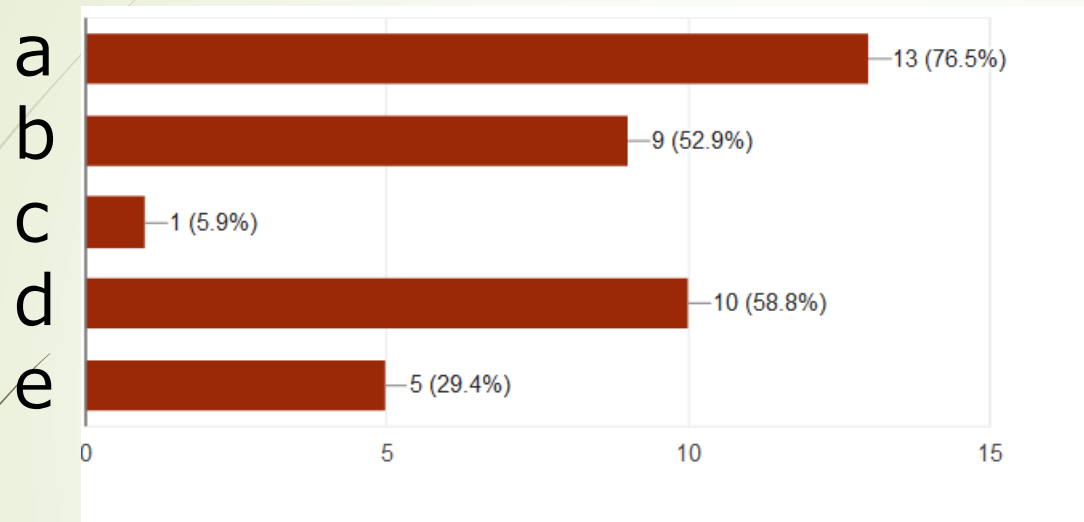


# AP AIE2018 シンガポール大会 出展団体アンケート結果(抜粋)

※JAFSA取りまとめ出展団体 17機関 /  
回答数 17機関 (回答率100.0 %)

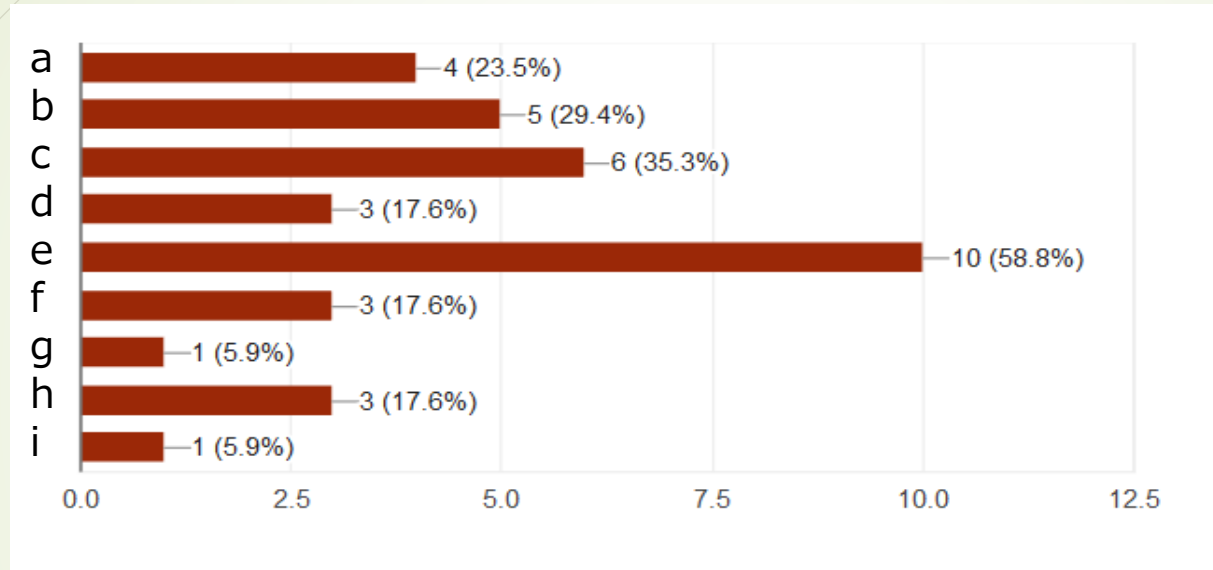
大会終了後(2018年4月)にWEBアンケートを実施。  
現地に実際に出展参加された教職員の方に回答を依頼。

## 1. APAIE2018に出展した理由を教えてください。



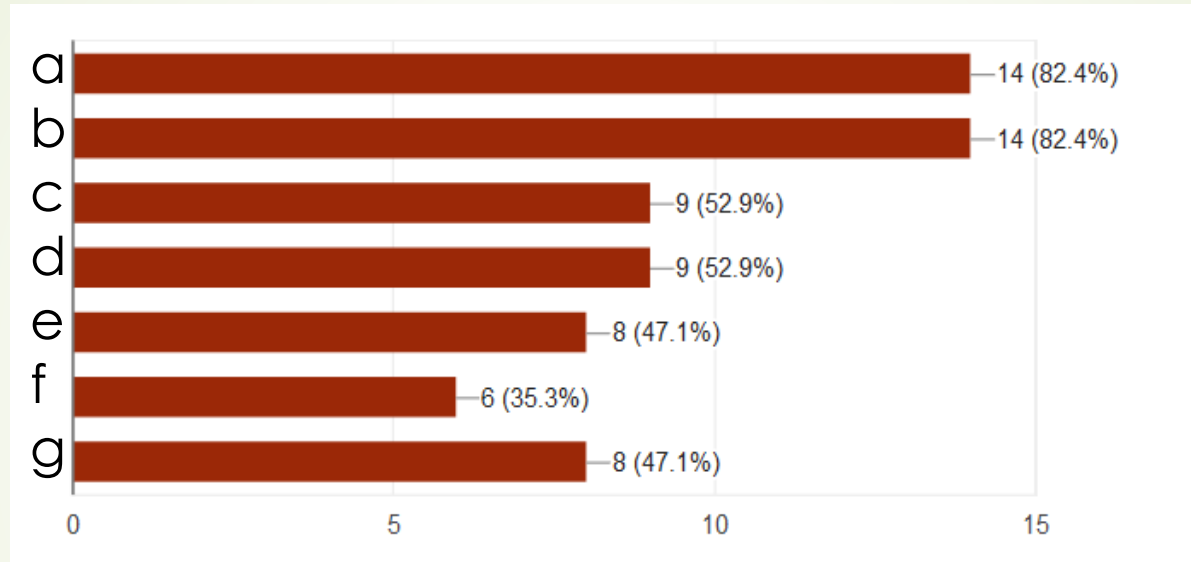
- a. NAFSA, EAIE同様、年間の出展計画の中に組み込み重要視している
- b. アジア圏は協定・提携で力を入れている
- c. シンガポールには協定・提携校が多い
- d. APAIEは年々規模が大きくなり(参加人数、参加地域数、参加機関数が増えており)、より多くの交流ができる
- e. (NAFSA,EAIEに比べて)ブース費用が安く、出張費も押さえられる

## 2. NAFSAやEAIEと比べて、APAIE出展での目標や活動内容に違いはありますか。



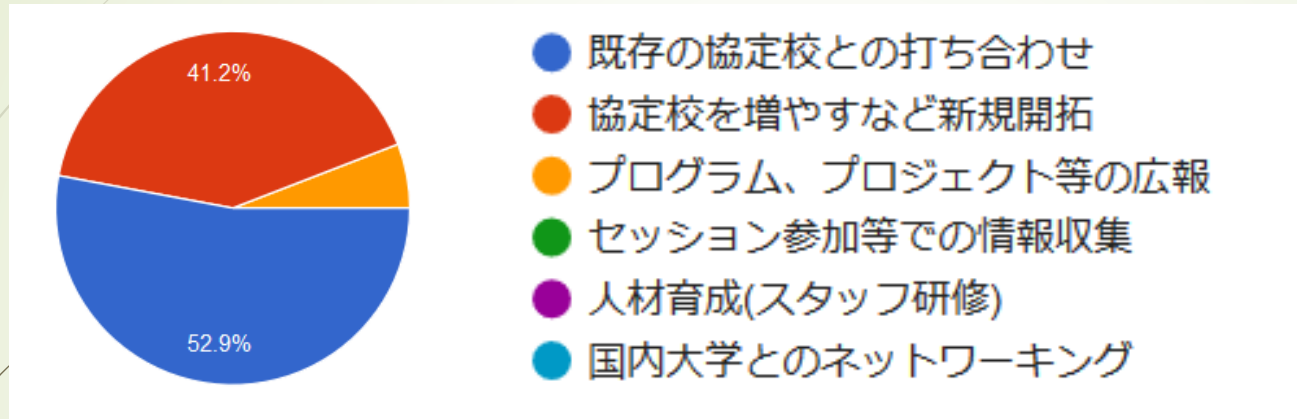
- a. 大会規模が(NAFSA,EAIEに比べて)小さいので、打合せのスケジュールをゆったり組んでいる
- b. 大会規模が(NAFSA,EAIEに比べて)小さいので、特定の人とじっくり時間をかけて打合せをしている
- c. あらかじめのアポイント以外の、新規飛び込みにも対応している(対応する余裕がある)
- d. 新規開拓に積極的な大学・機関が多いため、こちらからもアプローチがしやすい
- e. 大会規模(参加人数)的に、ネットワーキングがしやすい
- f. 大会規模や大会の参加者層に合わせて、新人研修の場として利用している
- g. NAFSAやEAIEを知らないので分からない
- h. 特に違いはない
- i. その他 (アジア圏での協定・提携に注力している。)

### 3. 大学・団体単体での出展ではなく「日本合同ブース」での出展はどこにメリットを感じますか。

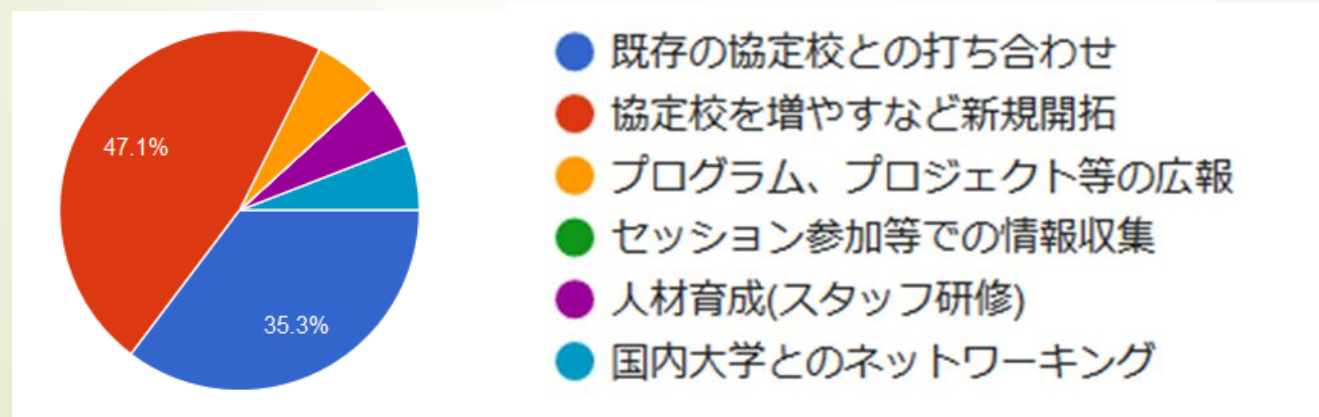


- a. まとまって出展することで、会場内で目立ち、存在感が増す
- b. 会場内での目立つ位置、人通りの良い場所にブースが構えられる
- c. 広く「日本」に関心がある人を引き寄せるので、新規開拓のチャンスがある
- d. 合同でのプログラム広告、レセプション開催、統一装飾など、押さえた費用で広報が効果的に行なえる
- e. シェアブースでの出展も可能なため、費用負担が押さえられる
- f. 国内大学同士でもネットワーキングができる
- g. 事務手続き、現地との交渉ごとは代行してもらえるので負担が軽い

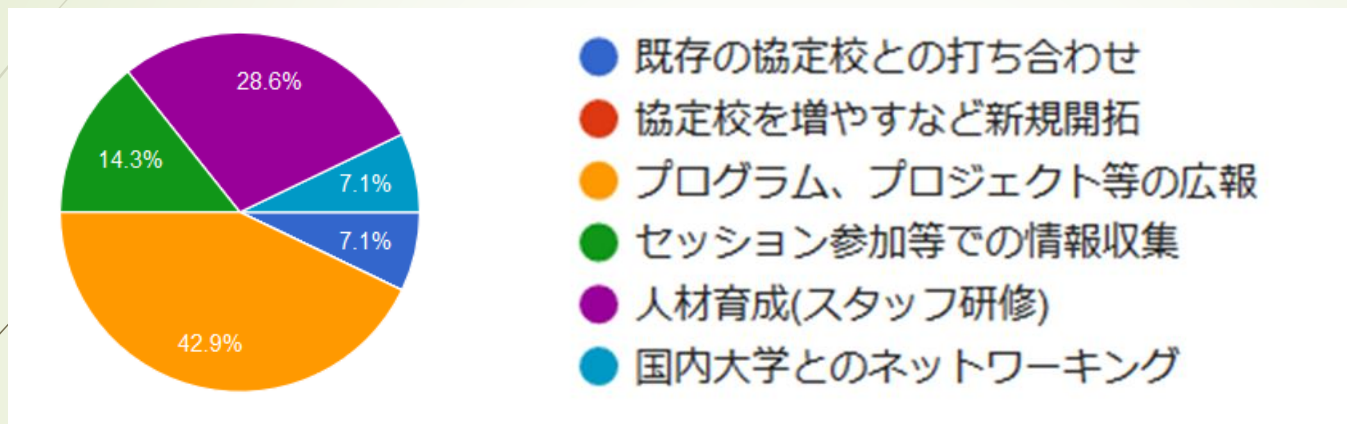
#### 4 (1).大会参加中の活動で、一番力点を置いていたもの、一番の目標にしていたものを選んでください。(一つのみ選択)



#### 4 (2).大会参加中の活動で、2番目に力点を置いていたもの、2番目の目標にしていたものを選んでください。(一つのみ選択)



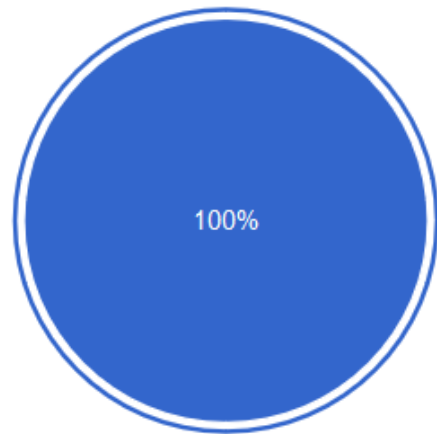
#### 4 (3).大会参加中の活動で、3番目に力点を置いていたもの、3番目の目標にしていたものを選んでください。(一つのみ選択)



#### 4 (4). 上記以外で、貴学で力点を置いていたもの、目標にしていたものがあれば教えてください。

- 共同教育やプロジェクトの立案
- 高専システムの周知・普及活動
- 本学の紹介、本学のプレゼンス向上
- 今回は初めての参加ということもあり、当初目標としていたネットワーキングは十二分に達成することができました

## 5. APAIE2018でのブース出展を（出展団体として） どう評価されていますか。



- a. 有意義だった/効果があった
- b. あまり効果がなかった
- c. まだ判断できない

## 6. 出展参加したことで得られたもの(成果)やご感想をお聞かせください (抜粋)

- 大会規模が小さいため、既存のパートナー校とのface to faceコミュニケーションで十分な協議が出来ました。
- 協議中の協定の進展、新規協定、協定校担当者との連携強化ができ、非常に有意義でした。
- アジア圏の語学研修先が開拓できました。機構本部との協定がある教育機関と交流できました。
- 想像していた以上に日本への留学やインターンシップへの関心が高いと感じました。
- APAIEはNAFSAなどに比べて1つ1つのミーティングがしっかりできるのでより有意義な時間を過ごすことが出来ました。
- 日本国内・海外とのネットワーキングという点でも濃く、素晴らしい会だと感じます。大会内での出逢い、セッションでの出逢い、ガラディナーでの出逢いと多くの出逢いを頂きましたことに感謝すると共に、今後もこのような会には参加をさせて頂きたいと強く思いました。